

パワーみえる シリーズ		
取扱説明書	Web 機能付電力モニタ	形 式
		EDMC

ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

■梱包内容を確認して下さい

・電力モニタ（本体＋ソケット）1 台

■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。詳細は、操作取扱い説明書（NM-1323-B）をご参照下さい。弊社のホームページよりダウンロードが可能です。

ご注意事項

●供給電源

- ・許容電圧範囲、電源周波数、消費電力
スペック表示で定格電圧をご確認下さい。
定格電圧 100 ～ 240 V AC の場合
85 ～ 264 V AC、50 / 60 Hz
100 V AC のとき約 5 VA
200 V AC のとき約 6.5 VA
264 V AC のとき約 8.5 VA

●取扱いについて

- ・ソケットから本体の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源および入力信号を遮断して下さい。

●設置について

- ・屋内でご使用下さい。
- ・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
- ・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
- ・周囲温度が -10 ～ +55℃を超えるような場所、周囲湿度が 30 ～ 90 % RH を超えるような場所や結露するような場所での使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

●配線について

- ・配線は、ノイズ発生源（リレー駆動線、高周波ラインなど）の近くに設置しないで下さい。
- ・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

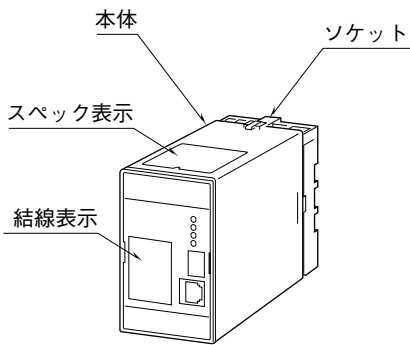
●カレンダー時計について

- ・カレンダー用 IC のバックアップには電池を使用しています。電源を投入しない状態でのバックアップ可能期間は約 2 年です。
- ・電源投入状態では電池は消費しませんが、電源断期間の合計が約 2 年になると、カレンダーのバックアップが不可能になり、カレンダーが正常な時刻を保つことができなくなります。
- ・お客様で電池の交換はできません。交換が必要な場合は、弊社までお問い合わせ下さい。

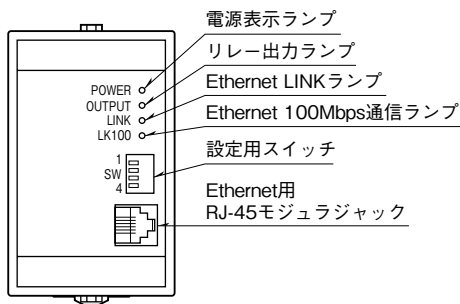
●その他

- ・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 1 分の通電が必要です。
- ・本器は使用が義務付けられている取引用計器および証明用計器としてはご使用になれません。

各部の名称



■前面図



■状態表示ランプ

ランプ名	表示色	状態	動作
POWER	赤色	点灯	正常
		点滅	重故障発生中 本器イベントログを確認して対処してください
		消灯	供給電源 OFF または機器異常 供給電源が ON にもかかわらず消灯している場合は、故障の可能性があります。弊社ホットラインに連絡してください。
OUTPUT	赤色	点灯	リレー出力 ON 時点灯 出荷時は遮断警報に割り当て ソフトウェア設定で、注意警報、 超過警報に変更可能
LINK	赤色	点灯	10BASE または 100BASE LINK 時点灯
LK100	赤色	点滅	100BASE 送受信時点滅

■設定用スイッチ

SW1 を ON で電源投入すると、IP アドレスは 192.168.0.1 になります。IP アドレスが不明になったときにご使用下さい。このとき、ユーザ名とパスワードも出荷時設定の admin となります。
SW2～SW4のスイッチは必ずOFFにしてご使用下さい。

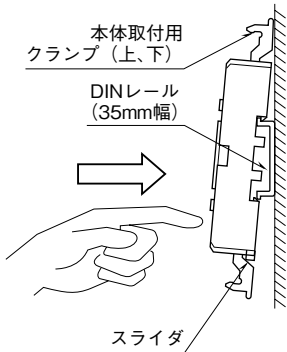
取付方法

ソケットの上下にある黄色いクランプを外すと、本体とソケットを分離できます。

■DIN レール取付の場合

ソケットはスライダのある方を下にして下さい。ソケット裏面の土側フックを DIN レールに掛け下側を押して下さい。

取外す場合はマイナスドライバーなどでスライダを下に押下げその状態で下側から引いて下さい。



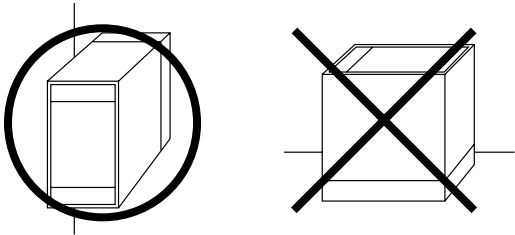
ソケットの形状は機種により多少異なることがあります。

■壁取付の場合

外形寸法図を参考に行ってください。

■取付方向

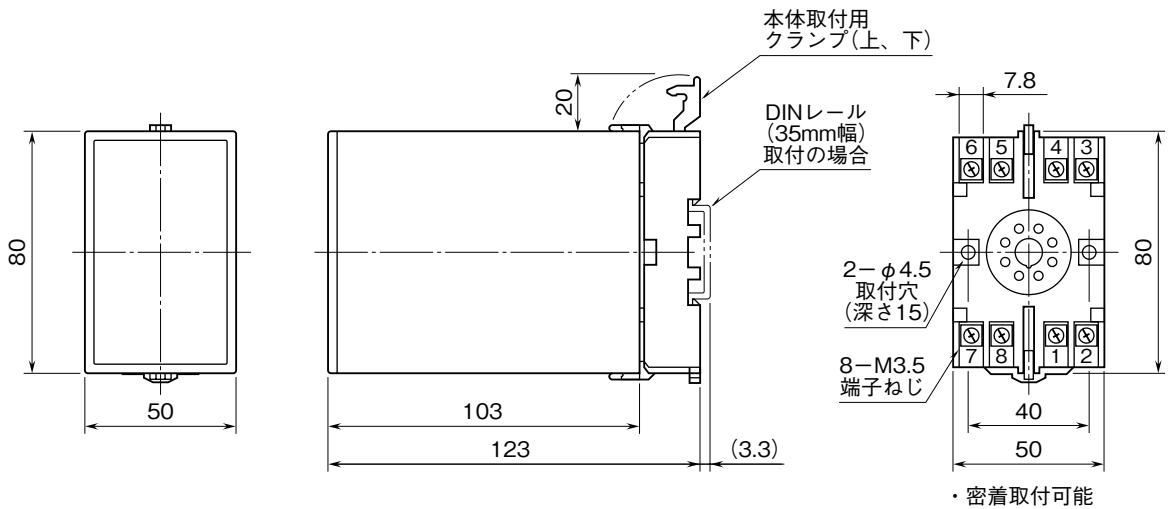
取付向きは、壁取付の水平方向のみとして下さい。



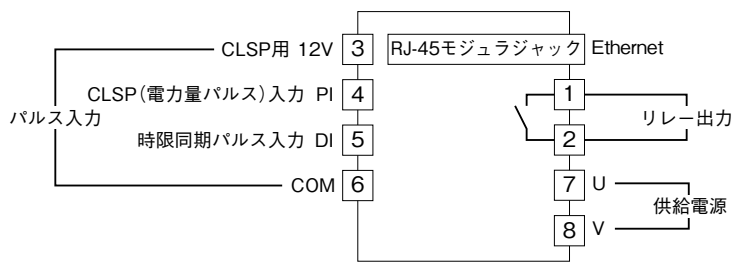
接 続

各端子の接続は端子接続図もしくは本体前面の結線表示を参考にして行って下さい。

外形寸法図 (単位: mm)

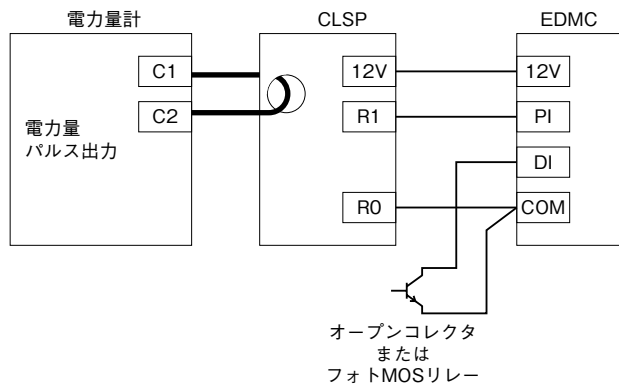


端子接続図

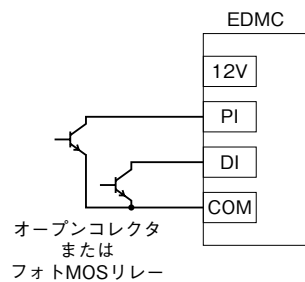


入力部接続例

■CLSPの場合



■パルス検出器等の場合



電力量計の出力は通常電流パルスになっており、CLSPを検出器として使用して下さい。
ただし、パルス検出器が設置されている場合は、パルス検出器と直に接続して下さい。

雷対策

雷による誘導サージ対策のため弊社では、電子機器専用避雷器<エム・レスタシリーズ>をご用意致しております。併せてご利用下さい。

保 証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。